

普及現地情報



発信年月日:令和6年(2024年)5月31日
所属名:高島農業農村振興事務所農産普及課
番号:H24003
部門分類:130(工芸・特用作物)
発信者名:山下

「マキノ茶」一番茶の摘採始まる

5月18日から高島市マキノ町大沼の茶栽培ほ場において、「マキノ茶」の一番茶の摘採が始まりました。初日は、農業技術振興センター茶業指導所の協力のもと、マキノ茶の仕立て方に合わせた丁寧な摘採が実施できるよう技術支援をしました。

併せて、茶工場での製茶技術についても JA レーク滋賀の担当者を対象に、摘採した芽に合わせた管理ができるよう支援しました。

高島市マキノ町大沼地域では、大沼茶生産組合が約2haを栽培管理されています。刈り取った茶は、JAを通じて茶工場で製茶されたのちに直売所等へ出荷されています。令和6年産は、かぶせ茶の品質向上に向けて、昨年からの支援を続けてきました。

「マキノ茶」は2人用茶刈機を用いて摘採されていますが、1150R仕立ての中で一度に裾まで刈ろうとすること、近年収量を求めるなかで深刈り傾向にあることから、木化した枝の混入が摘採時の課題となっていました。

そこで、農業技術振興センター茶業指導所の協力のもと、オペレーターに、改めて摘採時の機械運用の考え方を伝え、深刈りをしない摘採方法を習得・実践いただきました。

また、茶工場の各工程にかかる設定が固定化されつつあったため、搬入された芽の状態や茶種に合わせた設定・製茶ができるよう、茶業指導所職員より、JA茶工場担当へ各工程の仕上がり状況や設定・運用方法について説明されました。

「マキノ茶」は、地域の特産物として期待されていることから、市内の重要な品目として、今後ともJAと連携しながら、高品質な茶が生産されるよう支援していきます。



摘採初日の茶園の様子



製茶技術の習得支援